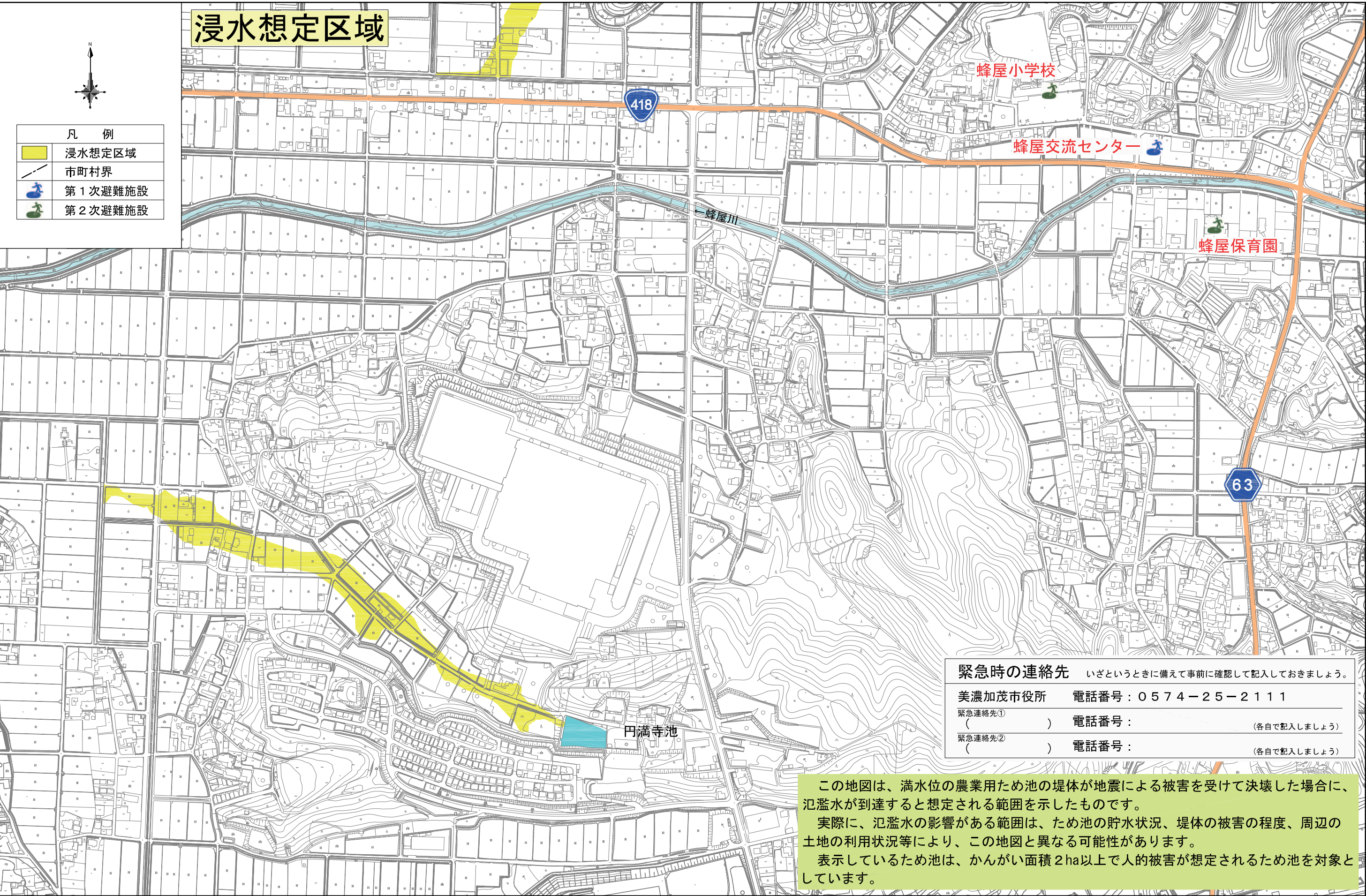


美濃加茂市 ため池ハザードマップ

1:6,000



この地図は、農村地域防災減災事業に基づき、岐阜県が作成したものです。

ため池の役割

ため池は、美濃加茂市内の農地をかんがいするために造られた貯水池です。

現在は、農業用水の利用のほか、防火用水としての利用や人命・住宅・農地・道路などを洪水から守るための洪水調整機能を備えています。また、美しい景観や親水空間を提供するとともに、水辺の生物多様性を支える重要な役割を果たすなど、豊かな多面的機能を有し、地域の大切な施設となっています。

ため池の規模



堤高
▽ 満水位
ため池
堤体
堤体の決壊

名称	堤高 H (m)	総貯水量 V (m3)	最大流出量 Qmax (m3/s)	流出 継続 時間t (分)
円満寺池	4.75	4,500	64.631	2

浸水区域図作成の条件

堤体決壊条件

本ハザードマップは、堤体が満水時に決壊した場合の浸水状況を記載しています。地震時の決壊は、瞬時に起こると仮定し、解析を行っています。

堤体決壊時の最大流出量と流出継続時間

堤体が決壊したときを想定した最大流出量と流出継続時間は、左表の通りです。

浸水想定区域の仮定

浸水区域は、流下する地域の地形条件に、堤体決壊時の最大流出量を与え、降雨量はゼロとしてシミュレーションにより求めたものです。

大雨による決壊の場合には、この浸水想定区域に加え、降雨および河川の水量が加わってきますので、浸水区域がさらに広がる可能性があります。

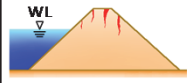
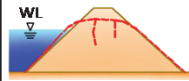
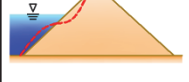
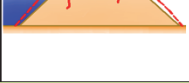
地震および豪雨による堤体の決壊

地震および豪雨により堤体が決壊する被災形態、及びその被災メカニズムは下記のこと

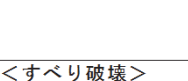
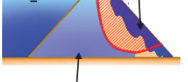
ことが想定されています。

堤体の異常に気がついたら、防災関係機関などに緊急連絡するとともに、浸水想定区域の外に退避するようにしてください。

地震により堤体が決壊

被災形態	被災のメカニズム
<クラック> 	堤体の頂部などにクラック（亀裂）が発生する場合があります。堤体の上下流方向に生じるクラック（亀裂）は水みちとなることがあり、特に注意が必要です。
<沈下> 	堤体の形状をほぼ保ち、クラック（亀裂）などを伴いながら堤体が沈下する場合があります。多くは軟らかい地盤で発生しています。
<斜面崩壊> 	堤体法面の上部が沈下し、下部がはらんで変形が生じる場合があります。
<斜面すべり> 	地震動により堤体の法面にすべりが発生する場合があります。
<崩壊> 	堤体や地盤が大きく変化し崩壊する場合があります。決壊に至ることが多く、堤体や基礎地盤の液状化によるものと考えられます。

豪雨により堤体が決壊

被災形態	被災のメカニズム
<浸透破壊> 	堤体内部が劣化して、水を遮る機能が低下し、貯水位が上昇したときに堤体の中の水圧も上昇して強度が低下し、破壊する場合があります。また、堤体内に上流から下流に向かう水みちが発生し、破壊する場合があります。
<すべり破壊> 	貯留した水と降雨が堤体の中に浸透して、堤体内部の水分量が増加し、堤体の法面部の強度が低下することによって、法面部ですべりが発生し破壊する場合があります。
<越流破壊> 	豪雨により、貯水位が急激に上昇し、堤体を越えて流れ出し、下流斜面を流下することによって、破壊する場合があります。また、貯水位の上昇により、堤体内の水圧も上昇し、強度が低下して破壊する場合があります。

避難するときの注意事項

地震による堤体の決壊は、予測が難しいうえ、浸水の到達時間が早いので、事前の備えをし、自主的に浸水区域の外に避難できるようにしましょう。

ため池の決壊と、大雨が重なる時は、浸水被害想定範囲が拡大し、水深が深くなる恐れがありますので、注意してください。

日頃からの準備

我が家の避難経路・避難場所



被害が想定される位置を確認し、いざという時の我が家の避難経路、避難場所、連絡方法を家族で決めておきましょう。

非常持ち出し品の事前準備



荷物は最小限の物にし、いつも取り出しやすい一定の場所に保管しましょう。保存期間等

に注意し、交換・補充するようにしましょう。

浸水想定区域外への避難

火元確認を



避難する前に、電気のブレーカー、ガスの元栓、ストーブのスイッチを切るなど火元を消しましょう。

自主避難を



大きな揺れ（屋内では、棚にある食器類が落ちる。屋外では、電柱が揺れる等）があり危険を感じたら、自主的に避難しましょう。

避難時の注意事項

動きやすい服装で



丈夫な靴、動きやすい服装で、安全な経路を

通って徒歩で避難しましょう。単独行動は避け、二人以上の避難を心がけま

しょう。

浸水は、浅くても危険



水深がヒザまで来ると、歩くことが困難になります。水深が浅くても、流れに勢いがある場合には、むやみに歩き回

ることは避けましょう。

万が一、逃げ遅れたときは



万が一、避難が遅れ、危険が迫ったときは、高い所へ逃げま

しょう。

避難場所

第1次避難所

市民の避難が必要であると認められる場合及び自主避難が予想されるときに開設する施設

名称	住所	電話番号
蜂屋交流センター（連絡所）	蜂屋町上蜂屋3637番地	25-2901

第2次避難所

大規模な災害のため、第1次避難施設（避難所）で対応できないときに開設

名称	電話番号	名称	電話番号
蜂屋保育園	25-4554	蜂屋小学校	25-2904

緊急時の連絡先

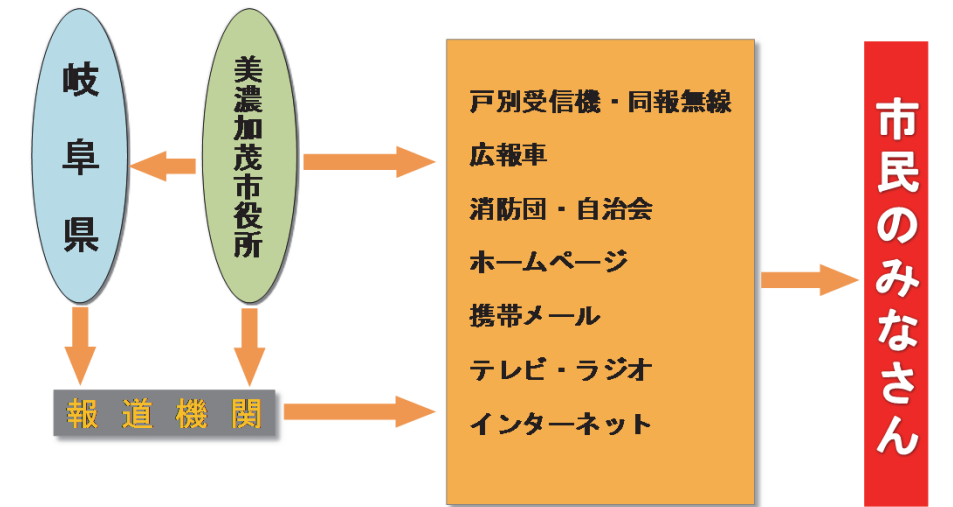
ため池の異常や漏れ、決壊など気づかれた場合は、関係機関等に一報を入れてください。

名 称	電話番号	住 所
美濃加茂市役所	25-2111	美濃加茂市太田町3431番地1
加茂警察署	25-0110	美濃加茂市古井町下古井2610番地
可茂消防事務組合中消防署	26-0190	美濃加茂市加茂川町3丁目7番7号

各種情報（インターネット・ホームページ他）

関 連 項 目	アドレス	発 信 元
防災情報	http://www.city.minokamo.gifu.jp/bousai/	美濃加茂市役所
	災害情報テレホンサービス 0180-99-5500	可茂消防事務組合
防災・防犯	http://www.pref.gifu.lg.jp/	岐阜県総合防災ポータル
交通情報	http://douro.pref.gifu.lg.jp/	岐阜県
防災気象情報	http://www.jma.go.jp/	気象庁
	http://www.jma-net.go.jp/gifu/	岐阜地方気象台

情報の伝達経路



岐阜県 ← 美濃加茂市役所 → 戸別受信機・同報無線 広報車 消防団・自治会 ホームページ 携帯メール テレビ・ラジオ インターネット

報道機関 → 市民のみなさん

この地図は、農村地域防災減災事業に基づき、岐阜県が作成したものです。

岐阜県可茂農林事務所

〒505-8508

美濃加茂市古井町下古井2610-1 可茂総合庁舎3F

TEL 0574-25-3111（代）